

わたしの 妊娠報告書

記載日 H21 年 10 月 5 日

おめでた宣言日	H21 年 6 月
年齢 (37) 歳	平成 (16) 年 (10) 月 結婚
私は (顕微受精 + 胚盤法)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(/) 年 (8) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タリミング法 , 排卵誘発 + 人工授精)
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

下半身を冷やさない様にしました。

クヨクヨ考え過ぎないで、夫妻で旅行したり、二人の時間を楽しみました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

タミング法～顕微授精まで。全2の治療に挑戦し妊娠する事が出来た。一番苦労した思い出は、地元の病院へ毎日注射に通う事でした。ASKAさんでは同じ不妊の悩みを持つ方達と待ち合いに座りますが、地元の病院は一般的に産婦人科だったので、周りは若い妊婦さんが大半で、辛く、自分は妊娠する事が出来るのが落ち込む原因でした。

その他 (通院・治療費・家族など)

通院には車で片道一時間かかります。夕方仕事を定時に終え、急いで一人運転していくのは、嫌だなぁと思ってしまう時もありましたが、主人は会社に事情を話し、早く仕事を切り上げ、一緒に通院してくれました。私一人では、途中で挫折していたと思います。

治療中の方へのアドバイス

1. 体外・顕微授精をする際は、果からの補助が受けられる場合があります。当初、夫婦二人正社員で、規定以上の収入があると私勘思い込んでおり、補助が受けられないと思ってきましたが、調べてみると受けられる事が判り、二度申請出来ました。あと、これは申請出来ないと思って治療分が後に申請出来ると判り、期限切れで受け付けてもらえず、自分の知識の低さに反省しました。不妊治療は、お金もかかり、きちんと知識を持つ、負わぬ方が下さい。確定申告(医療費控除)もおススメです!

スタッフへのご意見など

中山先生をはじめ、スタッフの皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。今、6ヶ月目となりましたが、切迫流産で自宅安静しています。まだ不安や元気に産まなく、赤ちゃんに心配ですが、皆さんのご協力を得て、やっと授かった命です。無事出産出来る様頑張りませう。どうぞ、健康には気を付けて下さい。一人でもたくさんの方を助けあげて下さい。本当にありがとうございました!

.....